



職員紹介
 ひび ちいさ しょうがい みな とも
 ~日々、地域の障害のある皆さまと共に~

今年度より、紙面での発信はSDGsの観点より、年2回(1月・6月)とさせて頂く事となりました。それに伴い紙面構成も変わり、1月号には各部上半期報告、6月号には前年度の報告を主に掲載させていただきます。

そして今回より、6月号には各部職員の紹介をさせて頂く事としました。様々な課題を抱えつつも、障害のある皆さまと立川という地域で共に生活し続ける為、日々邁進しております。2023年度もどうぞよろしくお願いいたします。(理事長 鈴木徳子)



全員集合は難しかったのですが、各自緊張しつつ皆様に笑顔をお届けいたします!



生活介護えんばわ

しっかり自己紹介 総務↓



福祉ホットライン・計画相談・自立生活部



ねんど ふくし しょうがいしゃちいきじりつせいかつしえん じぎょう じぎょうほうこく
2022年度 福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》 事業報告

そうだんぎょうむ
[1] 相談業務

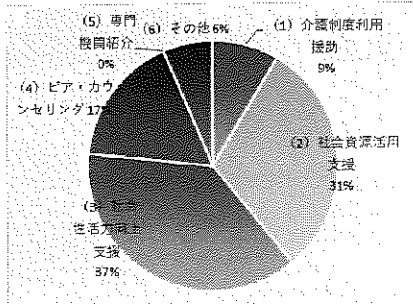
こべつそうだんけんすう
● 個別相談件数

(1) 介護制度利用援助	108件	(4) ピア・カウンセリング	212件	けい けん 計 : 1253件
(2) 社会資源活用支援	383件	(5) 専門機関紹介	0件	
(3) 社会性活力向上支援	470件	(6) その他	80件	

コロナ禍の影響を受け、引き続き電話相談が多い状況ですが、感染症対策を行いながら対面での相談も増加しています。

1年を通し、新規の方からのご相談が多く、インターネット等から情報を得られたご本人からの相談や、他の支援機関、支援者から紹介されたご家族の方など、様々な方からご相談頂きました。特に例年より、精神障害や視覚障害の方からの相談が目立ちました。

また、利用者・支援者のコロナ陽性からの調整等も続きました。



[2] その他業務、会議など

● 自立支援協議会

せんたいかい がつ にち がつ にち がつ にち
全体会：6月13日、9月26日、1月27日

6月は今年度1回目という事もあり、これまでの議論や活動からの課題の共有や、昨年度の協議会や各専門部会の活動報告がされました。

特に4月から開設された立川市地域福祉課の支援内容やその根拠となった「重層的支援体制整備事業」について説明があり、委員より現サービスとの相違点や連携方法など具体的な質問があがりました。

9月の第2回目は、当初より用意された議題、資料を用いての議論はもちろんでしたが「立川市支給決定基準案」について各委員より様々な疑問、意見が出され、その後も意見収集されました。

1月の第3回目は、年度最後の為、関連する他委員会の進捗状況や連絡事項、各専門部会の報告・課題などが共有されました。上記基準案については、自立支援協議会は検討の場では無い事が確認され、今回事市のホームページで公開され、広く一般市民から意見を吸い上げ、障害福祉課内で検討されるとの説明がありました。

● 地域生活支援拠点事業 コーディネーター

コーディネーター会議：4月28日(木)、5月26日(木)、6月23日(木)、8月25日(木)、9月22日(木)、10月27日(木)、11月24日(木)、12月22日(木)、1月26日(木)、2月16日(木)、3月23日(木)

この事業は、障害のある方の高齢化や重度化、「親亡き後」を見据え、地域全体で支えるために考えられた事業です。今年度、福祉ホットラインでは8名の方にご登録頂き、相談支援を行いました。

サービス未利用者の相談内容から、実態を把握し、他の事業者を含めたコーディネーター会議で共有しました。また、通所や外出など、ご家族以外の方と過ごすことが難しい方に向け、当団体の生活介護の場において、他者と関わるきっかけづくりの支援を継続しながら、新たなサービス利用の提案を行いました。

● 立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例 相談窓口

今年度は肢体不自由の方から1件のご相談をいただきました。生活保護ケースワーカーの発言に対し、差別発言との報告を受け、立川市障害福祉課へ報告し、今後の対応改善に向け調整を行いました。

(鈴木 徳子)

[3] 立川市障害者週間イベント開催

テーマを「めざせバリアフリーライフ@立川～身近にある『バリアフルライフ』に気づこう～」として、12月5日(月)～11日(日)までの1週間、立川市役所を会場に開催しました。

イベントでは、「市内小学4年生が描いた絵」と「福祉団体・支援機関の紹介パネル」の展示、福祉作業所の作品販売会、予約制の「社労士による年金等相談室」等を行い、多くの方がご来場くださいました。

また、今年度は市内小学校とのタイアップ企画として、第10小学校4年生の皆様にご協力をいただき、ショートムービー「バリアフルライフ」の鑑賞と障害当事者の大学生と交流を行う授業を実施しました。そして、授業の様子を動画にまとめて多目的プラザの展示スペースで上映しました。さらにイベント最終日にはショートムービー「バリアフルライフ」と上記の動画を上映したうえでシンポジウムを行う企画も実施しました。

来場者アンケートでは、イベントの取り組みに共感する声を多くいただきました。それぞれの企画を通じて障害者の福祉やバリアフリー等について、少しでも関心を持っていただけたら嬉しいです。

今後も引き続き実行委員の皆さんとアイデアや知恵を出し合いながら、立川市だからできる「立川市障害者週間」を開催していきます。

最後になりますが様々な形で「2022年度立川市障害者週間イベント」にご協力をいただきました皆様に深く感謝申し上げます。
(櫻井 未来)

知的事業

■ひとり暮らしのお部屋プログラム～どんな家具・家電があるかな?～ (3月4日)

ひとり暮らしの中でも「お部屋」がテーマのプログラムは、これまでにも何回か開催してきました。例えば、お部屋の「契約」や「内見」について学んだり、「キッチン家電」の値段を調べたり。そして今回は、お部屋に飾る「家具・家電の値段」や「飾り方」を見るために、IKEAに行ってきました。IKEAにはショールームがあり、色々な広さのスペースに、様々なテーマで本物のお部屋のように家具が飾ってあります。店内は広く、ショールームの数も多いため、私たちは1Kと1DKのショールームを1種類ずつ見て回りました。参加された皆さんは飾られた家具を見て、家族で暮らす家とは違う、ひとり暮らしのお部屋をイメージできたようです。また、自分に必要な家具とそうでない家具を考え、チェックシートに〇×を付けました。自分がひとり暮らしをする時にどんなお部屋にしたいか、何が必要か、普段の生活ではなかなか考えるタイミングがないため、みんなで一緒に考える良い機会となりました。事務所に戻ってからは、自分が必要だと思った家具が全部でいくらになるか、値段を計算し、発表し合いました。1Kと1DKで置く家具の種類や数が変わり、値段にも大きな違いが出るのだと学ぶことができました。今回のプログラムは外に出掛けること自体が久しぶりとなり、少しずつコロナ前のプログラムの形に戻りつつあることも嬉しく思いました。これからも引き続き感染対策を充分に行いながら、みんなが楽しく体験し学ぶことができるプログラムを企画していきたいです。最後にリーダーの内山さんの感想を記載します。



内山さんの感想：みんなと一緒にIKEAに行って、参加者がお部屋を見ながら頑張っていた。値段が高い家具も、安い家具もあった。買いたい家具があって、いくらなのかよく分かった。
(金井 春奈)

じりつせいかつぶ 自立生活部 — じぎょうほうこく 事業報告 —

■ピア・カウンセリングタイム～アフターコロナに思う事～ (3月15日) 参加者5名

今回のピア・カウンセリングプログラムでは、世の中が「アフターコロナ」の時代になってきた状況を受け、それぞれが自分らしく生きていけるよう障害のある仲間と気持ちを聞きあい、お互いにエンパワ



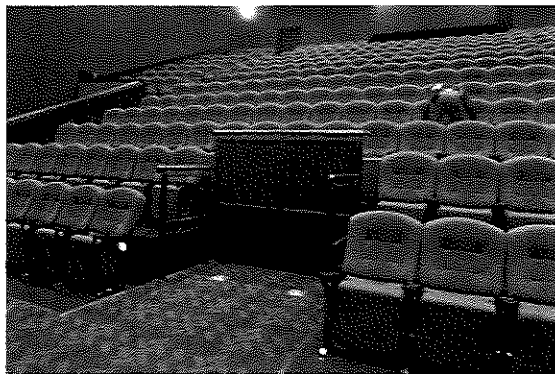
メントする時間を持つことを目的に開催しました。当日は5名の参加者とともにこれまでの生活の変化を振り返ったり、今後の楽しみについて話したりしながら過ごしました。セッションを通じて自分の時間をしっかり取り、仲間同士で聞き合うことは、日常ではなかなか感じられない安心感と心地良さがああり、心からエンパワメントされることの大切さを実感したプログラムとなりました。

おおいし こうじ (大石 幸治)

■おすすめスポット通信取材 「TOHOシネマズ立川立飛」

今回は、新しくららぽーと立川立飛エリアにできた「TOHOシネマズ立川立飛」をおすすめスポットとして取材しました。「TOHOシネマズ立川立飛」は2020年9月からららぽーとに隣接する映画館としてオープンしました。多摩モノレール立飛駅からのアクセスもよく、車いす対応の駐車場(ららぽーとと兼用)からもすぐに行くことができます。

映画館内はフルフラットで車いすでも動きやすい施設となっており、ロビーにはだれでもトイレが設置されています。車いすでの利用はも



もちろん、オストメイトの方の利用もできます。そして各スクリーンには車いす席が2名分あり、付き添いの方も隣に座ることができます。その車いす席は最前列にあり、スクリーンが近いと首が疲れてしまいがちですが、スクリーンから席までの距離を広めに取ることで、快適に映画を楽しむことができるようになっています。

またスタッフに声を掛ければ必要なサポートもしてくれる

とのことで、例えば車いすを漕ぐためポップコーンを運ぶのが難しい、といった場合にも対応してくれると思います。

映画館の目玉として、5番スクリーンには「轟音」という特殊なスピーカーが設置されており、足元が振動するくらいの大迫力で映画を楽しむことができます。

バリアフリーな環境で、好きな映画を存分に楽しんでみてはいかがでしょうか。

おおいし こうじ (大石 幸治)



■たちかわ楽市出店 (11月12日)

多くの市民に親しまれているイベント「たちかわ楽市」が3年ぶりに昭和記念公園にて開催され、当日はもちろん出店に向けた企画や準備の段階から協力員の皆さんと一緒に取り組みました。

今年は感染対策の観点から飲食物の販売ができなかったため、ヨーヨー釣りとかじびきを合体させた「ヨーヨーくじ」のお店を出しました。くじ付きのヨーヨーを釣ったお客さんには、協力員から寄せられた雑貨やえんぱわ通所者による創作品を景品としてお渡ししました。ご家族連れを中心に多くの方に来店頂き、お昼過ぎには完売し大好評でした。



今後も地域とつながる活動に、仲間たちと参画していきたいと思ひます。

(廣瀬 麻美)

■視覚障害者交流会 (11月13日) 参加者 対面1名 オンライン1名

2022年度もCIL立川と関りのある視覚障害者を対象に交流会を開催しました。今回は『視覚障害のある仲間におすすめしたい便利なもの(場所、サービス、用具等)』と『視覚障害者として生活している中で「こんなあったらいいな」と感じるサービス』の二つをテーマとしました。

前半では、スマートフォンの便利な設定やアプリ、スマートスピーカー、裏表どちらでも履ける靴下等、生活の中で活用している便利なものを参加者同士で紹介し合いました。また、後半では日常生活用具の給付やヘルパー派遣に関する制度等の障害福祉サービスについての改善してほしい点の話題があがり、意見交換を行いました。参加者からは次回の開催を希望する声も頂き、今後も引き続き開催していければと思っています。

(櫻井 未来)

■介助ILプログラム+防災ILプログラム (2月15日) 参加者 対面4名 オンライン11名

毎年行っている介助ILと防災ILですが「どちらも地域生活の継続にはなくてはならないものであり、介助者や支援機関と共に考えていくことが必要」といった視点から2022年度はコラボでの開催としました。

介助ILプログラムでは、目白大学人間学部人間福祉学科博士の金在根氏をゲストとしてお呼びし、介助を受ける障害者と介助者に向けて実施したアンケート調査の報告についてお話頂きました。その結果から、障害者と介助者それぞれの立場からの思いに触れることができました。双方で作っていく生活のなかで何を大事にしていくべきか、参加者それぞれが考えを深めていく時間となりました。

防災ILプログラムでは、「異なる場の防災を考える」をテーマとして、自宅・職場や通所先・外出先で地震が起こった時のことを想像してもらうワークを行いました。それぞれの場で「自分で準備できること」「誰かに手伝ってほしいこと」をポイントに災害への備えについて聞き合う時間を作りました。防災グッズを持ち歩くとといった工夫のほか、近くにいる人に助けを求めたり、ご近所の方に気づいてもらえるよう普段からコミュニケーション力を高めておくといった備えについても話題となりました。(廣瀬 麻美)

●その他、2022年10月から2023年5月までに開催したイベント・行事●

- ・ 出前講座 (第一小学校、第二小学校、第三小学校、第八小学校、第九小学校、幸小学校、西砂小学校、新生小学校、第一中学校、第二中学校、第六中学校)
- ・ A 25 プログラム「パラスポーツ会場と繋がるう！」(10月8日)
- ・ オンライン新春かくし芸大会 (1月25日)
- ・ ILプログラムフィールドトリップ「モリタウン」(3月20日)
- ・ 協力員スキルアップ研修「聴覚障害と手話」(12月21日)
- ・ 協力員プログラム (5月31日)

たちかわしろうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ — 2022年度 事業報告 —

[1] 登録者の状況(表参照)

利用問い合わせの総数は60件で、精神・発達障害者が約35%、身体障害者が25%、知的障害者が約10%、在職中の方から約30%で、企業から障害のある従業員についての相談も5件でした。

正式に新規登録した方は31名でした。知的障害者18名、精神障害者9名、身体障害者4名でした。利用登録された方の紹介経路は、支援学校などの高等部新卒者8名(4校)、福祉サービス事業所5名(うち定着支援事業から1名)、ハローワーク8名、障害者職業センター1名、訓練校1名、医療機関1名、行政1名、ご本人から直接が6名でした。登録時の状況は、未就労の方が7名、在職中の方24名でした。

年間の就職は26件でした。仕事内容は、メール集配や軽作業も含めた事務系8名、小売店4名、病院や高齢者施設などでの周辺業務3名、施設清掃6名、飲食店2名、物流倉庫等での仕分け3名でした。また、就職先として特例子会社が9件ありました。

一方、離職は16件で、トライアル雇用期間終了によるものが1名、その他の15名は自己都合によるものでした。内容としては転職希望9名、不調7名でした。離職後の状況としては再就職を果たした方が9名、在宅の方が4名、福祉就労へ転換した方が3名でした。

また、年度末で登録終了した方は14名でした。転居された方4名、福祉就労へ移行した方4名、支援を利用しないとされた方5名、数年利用実績のない方1名についても終了させていただきました。

[2] 訓練等プログラム

市役所実習は8回実施し、16名が参加、うち6名の方が就職を果たされました。別枠で行っている市内通所施設利用者を対象とした年1回の市ゴミ袋セット作業には、市内B型2施設、就労移行1施設から6名の体験参加がありました。高齢者施設清掃実習は3回実施しましたが、ららぽーと職場体験実習は、残念ながらコロナ禍により中止となっています。

[3] 利用者交流プログラム

・**夕食会** 知的障害の方を対象とした木曜日の夕食会は22回実施し、毎回平均約16.7名、年間のべ368名が参加されました。毎回20名を上限の人数制限、時間短縮と感染予防を徹底したうえで実施しました。

・**お楽しみ会** 知的障害の方を対象とした交流会として「ボウリング大会」、「食生活の学習会」の2回実施しました。参加者はのべ47名でした。

・**茶話会** 精神・発達障害の方を対象に「自立生活について」というテーマで、1回実施し7名の参加がありました。また、成人後に愛の手帳を取得された方を対象に、悩みを語り合う会を開催し、6名が参加されました。

★はたらこセンター長交代について

これまでセンター長を務めておりました白部が3月で定年となりました。それに伴い、川崎がセンター長になります。尚、白部は引き続き当センターにて支援にあたります。今後とも当センターの支援についてご理解、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

【川崎 太郎】

登録者状況 (2023年3月31日)			
① 人数	268名		
② 性別	男性 188名	女性 80名	
③ 年齢	10代 9名	40代 39名	
	20代 106名	50代 33名	
	30代 74名	60代 7名	
④ 障害	知的障害 198名	精神障害 54名	
	身体障害 16名	知的判定 2名	
⑤ 状況	一般就労中 248名		
	就職準備等 20名	福祉施設通所含む	

せいかつかいごじぎょうしょ
生活介護事業所 えんばわ

2019年11月に開所した「えんばわ」もスタッフ、利用メンバー、関係機関の方々に支えていただき、3年が過ぎました。開所前には「なぜ、自立生活センター・立川で通所(生活介護)を行うのか?」「どのようなニーズがあって行うのか?」「どのような利用者へ、なにを提供するのか?」など何度も法人内で話し合い、事業開始を決めていきました。

2022年度もよきスタッフ、個性豊かな利用メンバーに恵まれ、スローガンである「地域や仲間とつながる場」「体験、経験する場」「自分らしく居られる場」「エンパワメントする場」を基礎とし活動しました。

えんばわでの活動の特徴は個別活動と地域への参加活動です。個別活動では手芸、創作活動のほか、えんばわ内での入浴支援、薬塗、生活支援として同行受診、薬管理支援、支払い、買い物や美容院の同行、予定管理支援、衛生用品の発注支援代行などを行っています。地域への参加活動では小中学校への出前講座、小学校でのコラボアートイベント、グリーンスプリングスで行われたパラフープフェス「ハートフルマルシェ」へ参加しました。

活動メニューと曜日ごとの利用人数を下記の表で、活動での様子を写真でご紹介させていただきます。

げつよう にんりよう 月曜/8人利用	まいしゅう ちようり ちゆうしょく 毎週：調理(昼食) つき かい 月1回ずつ：ピア・カウンセリング、ローカロスーツ、 その他：グループ活動、個別活動
かよう・にんりよう 火曜/9人利用	まいしゅう かん ごし そうだん 毎週：13・14看護師相談、 かくしゅう ちようり ちゆうしょく た こべつかつどう 隔週：調理(昼食) その他：個別活動
すいよう・にんりよう 水曜/10人利用	つき かい だい-がいでい- 月1回ずつ：DVD、カードゲーム、ローカロスーツ その他：個別活動
もくよう・にんりよう 木曜/5人利用	まいしゅう こべつかつどう 毎週：個別活動
きんよう・にんりよう 金曜/9人利用	まいしゅう しょくどう ちゆうしょくちようり 毎週：えんばわ食堂(昼食調理) その他：グループ活動、個別活動

- * 毎週火曜/看護師面談、ケア
- * 毎月1回程度/医師訪問、外出または外部講師を招いたイベント、誕生日イベントなど



※外出の際は感染対策を行い、写真撮影時以外はマスクを着用しています。

(奥山 葉月)

私たちの動き (10/1~5/31)

() は担当部門名 C I L ・ H L ・ 就労 ・ えんばわ

※印はオンライン

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・ ホワイトラテ定例会 (10/6, 11/17, 12/23, 1/24, 2/28, 3/31, 4/28, 5/30) ※
- ・ 立川市指定特定相談支援事業所連絡会 (10/11, 5/9)
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会定例会 (10/13, 11/24, 12/22, 1/31, 2/14, 5/10) ※
- ・ 立川市自立支援協議会地域移行専門部会 (10/14, 12/16, 2/10)
- ・ りらく定例会 (10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16, 4/20, 5/18)
- ・ 立川市障害者施策推進委員会 (10/25, 2/7, 4/28)
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会地区別懇談会 (10/26, 2/22, 3/22, 4/19)
- ・ りらくオンライン病院訪問 (10/27, 11/24, 12/22, 1/26, 3/23, 5/25) ※
- ・ T I L 相談支援サポートグループ (10/28, 12/23, 2/24, 4/28) ※
- ・ 多摩療護園オンズズバーソン (10/28, 11/30, 12/16, 1/26, 3/28, 4/20, 5/25)
- ・ 立川市災害ボランティアネット定例会 (10/28, 12/23, 2/24, 5/26) ※
- ・ 立川市地域公共交通会議 (11/7, 3/22)
- ・ 立川市人権学習事業実行委員会 (11/11, 2/9, 5/8)
- ・ 立川市自立支援協議会運営会議 (1/12)
- ・ I L P リーダーズ (1/24, 3/16) ※
- ・ 多摩療護園利用者・職員懇談会 (2/1)
- ・ 立川市災害ボランティアネット総会 (5/20) ※
- ・ 立川市障害を理由とする差別解消まちづくり協議会 (5/29)

(H L)

- ・ 立川市自立支援協議会相談支援専門部会 (1/13, 3/10)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (1/27, 4/24)
- ・ 地域生活支援拠点事業 事業説明会 (2/8)
- ・ 立川市障害者週間実行委員会 (10/20, 11/17, 1/19, 2/16, 2/16, 4/20, 5/18)
- ・ 立川市地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議 (10/27, 11/24, 12/22, 1/26, 2/16, 3/23, 4/27, 5/25)
- ・ 立川市指定特定相談支援事業所連絡会 (10/11, 2/7, 5/9)

(就労)

- ・ 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会 (11/11, 2/10) ※
- ・ 立川市自立支援協議会就労専門部会 (11/29, 2/27)
- ・ 多摩北部ブロック就労支援を考える会 (12/15, 3/22) ※
- ・ 立川市自立支援協議会運営会議 (1/12, 4/10)
- ・ 東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 (1/16) ※
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (1/27, 4/24)
- ・ オープナー主催精神障害者就労定着支援連絡会 (2/6) ※
- ・ けるんネットワーク会議 (2/13) ※
- ・ 令和4年度 第2回ハローワーク立川主催障害者雇用連絡会議 (2/14)
- ・ ナカボツセンター長会 (3/27) ※

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ 多摩立川保健所在宅療養支援講習会 (11/9) ※
- ・ たちせいれん映画上映会 (11/18)
- ・ 立川市人権学習事業実行委員会映画上映会 (12/4)

- ・ J I L 全国セミナー (12/20, 21, 22) ※
- ・ 医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修 (3/11) ※
- ・ J I L 関東ブロック団体交流会 (3/17) ※

(H L)

- ・ 自立支援協議会就労・権利擁護部会共催研修会 (11/11)
- ・ 立川市虐待防止センター講演会 (2/8) ※
- ・ 八王子市障害者地域生活支援拠点事業報告会 (2/16) ※
- ・ 立川療護園はごろもの音 落成式、内覧会 (4/27)

(就労)

- ・ 東京都中部総合精神保健福祉センター、東京障害者職業センター共催うつ病休職者の職場復帰支援を考えるフォーラム (10/26) ※
- ・ 東京都障害者職業センター、T A L A N T 共催 多摩職業リハビリテーションネットワーク情報交換会 (10/28)
- ・ 多摩総合精神保健福祉センター主催 令和4年度精神保健福祉研修「大人の発達障害 当事者のレジリエンスを高める支援のあり方」 (11/7) ※
- ・ 自立支援協議会就労専門部会主催 研修・交流会 (11/11, 1/20) ※
- ・ 武蔵野市障害者就労支援ネットワーク学習会 (12/9) ※
- ・ 区中央部高次機能障害合同研修会 (2/6) ※
- ・ 地域活動支援センターたあふく主催 市民講座～スマホ決済に潜む罠～ (3/10)
- ・ 国立市しょうがいしゃ就労支援センター主催 就労支援学習会 (3/28)

(えんばわ)

- ・ 楽しく老後を過ごそう学習会 (2/20)

【外部からの見学・研修】

(C I L)

- ・ ユースタイルラボラトリー (3/31)

【講師派遣】

(C I L)

- ・ 明星大学 (11/18)
- ・ 立教大学 (12/17) ※
- ・ 東京学芸大学 (1/31) ※
- ・ 交通サポートマネージャー研修 (12/15)
- ・ J I L ユースパワーネット勉強会 (2/15) ※

(H L)

- ・ 東京都立小平特別支援学校 (12/9)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・ 平山 裕子 様 ・ 中野 敏子 様
- ・ 野々 久美子 様

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134
URL : <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail : cilt@sh.rim.or.jp

